

THE ROKKOU

六 甲

第47号 (第3後方支援連隊広報誌)



1 p 第3師団創立51周年・
千僧駐屯地創設61周年記念行事

2 p 激動後の射撃

3 p 第1次連隊集中野営訓練

4 p 新隊員特技課程・

一般陸曹候補生課程後期入隊式 (需品・衛生)

5 p 平成24年度連隊体力 (筋力) 競技会 (その1)

6 p 平成24年度連隊体力 (筋力) 競技会 (その2)

7 p 黒丸連隊長離任式

8 p 河原連隊長着任式

9 p 山下師団長初度視察受け

10 p 千僧駐屯地納涼行事 (その1)

11 p 千僧駐屯地納涼行事 (その2)

12 p 部隊長離任行事

『表紙：河原連隊長着任式』

第3師団創立51周年・千僧駐屯地創設61周年記念行事

1/12

平成24年5月19日（土）及び20日（日）、千僧駐屯地において、第3師団創立51周年・千僧駐屯地創設61周年記念行事が挙行された。天候にも恵まれ、ご来賓、OBの方々をはじめ、隊員家族のほか地域住民の方々等、2日間で約1万8千人の来場者が訪れた。

連隊は、来場者の見守る中、記念式典に参加、観閲行進においては、連隊長を先頭に連隊隷下部隊の装備車両が車両行進し、威风堂々たる勇姿を披露する等、連隊の威容を示した。また、装備品展示、災害派遣活動パネル展示等の各種部署で整齊と勤務するとともに、模擬売店を出店し、本行事を盛り上げた。



観閲式に参列する連隊



観閲行進



威风堂々と行進する衛生隊



模擬売店



パネル展示において説明する勤務員



興味深く水タンクをのぞき込む子供達

激動後の射撃

2/12

連隊は、平成24年5月22日（火）及び同年7月24日（火）、久代射場において、激動後の射撃訓練を実施した。本訓練は、激動を伴い戦場に近似した環境における射撃を実施して、自衛・戦闘能力の向上を図ることを目的に実施した。5月22日は、射場周囲700mを控え銃で駆け足を行い、その後、組長の号令により、300m射座から70mの早駆けに引き続き30mのほふく前進を行い、200m射座において、目標に対し射撃を実施した。また、7月24日は、300m射座から170mの早駆けに引き続き30mのほふく前進を行い、100m射座において射撃を実施した。隊員は、完全武装に身を包み、初めての体験にとまどいながら訓練に精励し、多くの教訓事項を得て訓練は終了した。



射場を控え銃で駆け足(5月22日)



射撃位置まで早駆け(5月22日)



組長の号令による200m射撃(5月22日)



170mの早駆け(7月24日)



30mのほふく前進(7月24日)



膝打ちの姿勢からの100m射撃(7月24日)

第1次連隊集中野営訓練

3/12

連隊は、平成24年6月16日（土）から20日（火）までの間、青野ヶ原演習場において第1次連隊集中野営訓練を実施した。

訓練間、豪雨、猛暑及び台風の接近等、天候の変化が激しい状況下であったが、各隊員はその厳しい困難を克服しつつ師団訓練検閲受閲に向け、個々の基本・基礎動作を訓練するとともに、部隊行動を演練し訓練練度の向上を図った。



偵察先発隊長 副連隊長による
連隊長への偵察報告



歩哨用掩体の構築



指揮所の開設



戦闘予行で対空警戒をする隊員



検問所で警戒を行う隊員



索敵行動を行う隊員

新隊員特技課程・一般陸曹候補生課程後期入隊式(需品・衛生)

4/12

連隊は、平成24年7月2日(月)、「平成24年3・4月新隊員特技課程(需品・衛生)」及び「第5期一般陸曹候補生課程後期(需品・衛生)」の入隊式を連隊OB会長 吉田様ほか、補給分会長 栢木様及び衛生分会長 仲田様のご臨席を得て挙行了した。

入隊式では、連隊長が式辞を述べた後、OB会長 吉田様から祝辞を賜り、その中で新隊員に対し、暖かい激励のお言葉を頂いた。

入隊式終了後、記念撮影に引き続き、記念会食を実施した。



連隊長式辞



緊張気味の新隊員



OB会会長 吉田様からの祝辞



記念撮影(需品科9名)



隊員食堂での記念会食



記念撮影(衛生科12名)

平成24年度連隊体力(筋力)競技会(その1)

5/12

連隊は、平成24年7月11日(水)、千僧駐屯地南側地区において、平成24年度連隊体力(筋力)競技会を実施した。競技は、腹筋、腕立て伏せ及び懸垂の3種目を各部隊保有人員の半数が参加し、体力検定基準に基づく点数の合計からチームごとの平均点数を算出する方式で実施した。

各選手達は優勝を目指し、日頃の練成成果を最大限発揮し、自己の筋力の限界に挑戦した。



選手宣誓

【第1整備大隊 通信電子整備隊 高橋士長】



ずらりと並んだ各部隊の選手達



選手達にエールを送る応援者



筋力の限界に挑む選手



気合いであと1回!



歯を食いしばり限界に挑戦!

団体の部

優勝



第2整備大隊第2普通科直接支援中隊

準優勝



第2整備大隊戦車直接支援隊

第3位



第1整備大隊施設整備隊

個人の部

腹筋の部

第2整備大隊第3普通科直接支援中隊

岡 3曹

記録: 111回/2分

腕立て伏せの部

本部付隊

山本 3曹

記録: 126回/2分

懸垂の部

第1整備大隊火器車両整備中隊

江馬 3曹

記録: 26回/時間無制限

黒丸連隊長離任式

7/12

平成24年7月25日（水）、黒丸逸朗1等陸佐が第12代第3後方支援連隊長の職を離任した。

黒丸1佐は、在任中、「生き残り、かつ支援せよ」を要望事項として約1年8ヶ月の間、連隊の指揮を執った。その間、平成24年3月11日に発災した東日本大震災での災害派遣では、第3師団生活支援隊長として民生支援に従事するとともに、同年9月、紀伊半島大水害に伴う災害派遣においても派遣任務に邁進した。離任式では、連隊OB会長をはじめ、千僧駐屯地所在部隊長が陪列する中、副師団長より離任部隊長の紹介が行われた。離任の辞では、連隊隊員に対して在任間の熱い思いを述べた。その後殉職隊員の慰霊碑に献花を行った後、連隊隊員に惜しまれながら見送られ、駐屯地を後にした。



離任式に参列した各部隊



敬礼を受ける黒丸1佐



離任の辞を述べる黒丸1佐



惜しまれながら見送られる黒丸1佐



慰霊碑に献花



副連隊長による万歳三唱

河原連隊長着任式

8/12

平成24年7月26日付で、第13代第3後方支援連隊長に河原久嗣（かわはら ひさつぐ）1等陸佐が着任した。着任式では、「国民の期待に応え確実に成果を求められる我々は、『いかなる任務にも即応しこれを完遂出できる連隊』を目指し常に前進していくことが必要」と述べた後、連隊隊員に対して、「即応」、「練磨」、「融和」の3点を要望した。この日から河原連隊長を核心に、新たな第3後方支援連隊の歴史が始まった。



副師団長より紹介される連隊長



巡 閲



着任の辞を述べる連隊長



幹部挨拶



記念撮影



状況報告

山下師団長初度視察受け

9/12

連隊は、平成24年8月7日（火）、山下師団長初度視察を受察した。
山下師団長は、連隊長室において幹部挨拶を受けられた後、連隊作戦室における連隊長の状況報告に引き続き、連隊本部及び輸送隊の事務室等を巡視された。



状況報告を受けられる師団長



連隊本部等を巡視される師団長



出迎え



幹部挨拶



状況報告を実施する連隊長

千僧駐屯地納涼行事(その1)

10/12

連隊は、平成24年8月8日(水)及び9日(木)の2日間、千僧駐屯地において駐屯地納涼行事に参加した。

ご多忙にもかかわらず、多数の部外協力者及び連隊OB会役員の方々をはじめ、隊員家族等が来隊され、現役隊員との懇親を深めた。また、部隊対抗盆踊りコンクールにおいて、各部隊は趣向を凝らした踊りを披露し、第1整備大隊チームは見事「伊丹市長賞(優勝)」を勝ち取るとともに、本部付隊・輸送隊チームは、「ユーモア賞」を、衛生隊チームは「躍動賞」をそれぞれ受賞した。このほか、各部隊は模擬売店を出店し、美味しい食べ物の提供や子供向けの催しにより来隊者を楽しませた。



OB会役員と懇親を深める連隊長



連隊OB会員と談笑する現役隊員



隊員家族も参加



「ユーモア賞」を受賞した
本部付隊・輸送隊チーム



見事、「伊丹市長賞」を受賞した
第1整備大隊チーム



「躍動賞」を受賞した
衛生隊チーム

千僧駐屯地納涼行事(その2)



からあげ(連隊本部・本部付隊)



1整焼き(第1整備大隊)



スーパーボールすくい(第2整備大隊)



フライドポテト(補給隊)



フランクフルト(輸送隊)



くじ引き(衛生隊)

部隊長離着任行事

第1整備大隊長

離任



山本2佐は
陸上幕僚監部運支・情報部運支課 那覇へ

補給隊長

離任



倉本2佐は
中部方面総監部装備部 伊丹へ

衛生隊長

離任



藤田2佐は
第3師団司令部 第1部長へ

着任



植松3佐は
関東補給処吉井弾薬支処 吉井から

着任



池田2佐は
陸上幕僚監部装備部需品課 市ヶ谷から

着任



川井3佐は
部隊医学実験隊 三宿から

大隊長要望事項

一歩前進

隊長要望事項

責任感と思いやり

隊長要望事項

もうひと踏ん張り